

2019年11月1日  
凸版印刷株式会社

## 凸版印刷、スマホで見られるVRでトヨタホームの顧客サービス支援

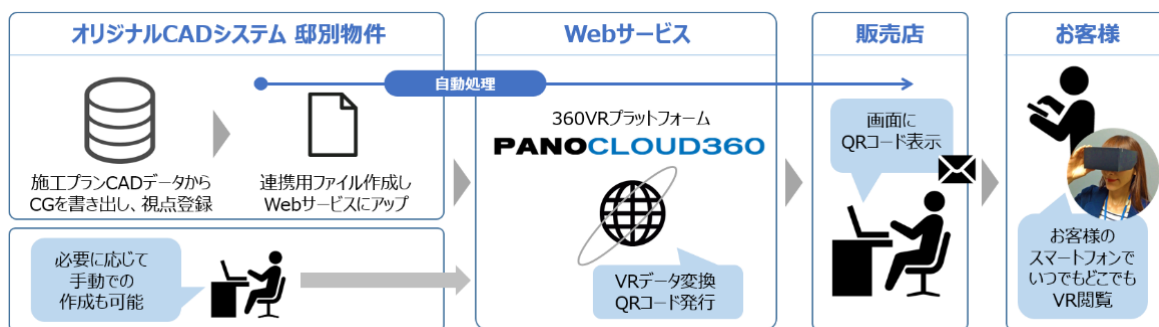
トヨタホームのCADシステムに連携して邸別の360°パノラマVRを完全自動生成  
検討中の間取りや外観・内観などのイメージを、スマートフォンなどでいつでも体験

凸版印刷株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:磨 秀晴、以下 凸版印刷)は、トヨタホーム株式会社(本社:名古屋市東区、取締役社長:後藤 裕司、以下 トヨタホーム)のオリジナルCADシステムに連携して、臨場感ある360°パノラマVRコンテンツを完全自動生成、webにアップロードする仕組みを開発、2019年10月より運用を開始しました。

これにより、トヨタホームで戸建て住宅を検討する際に、お客さま自身のスマートフォンやタブレット端末を利用して、簡単に外観・内観のイメージをVRで確認できるようになりました。

本システムは、凸版印刷と株式会社アジェンシア(本社:名古屋市東区、代表取締役社長:ジャン ピエール、以下 アジェンシア)が共同で提供している360°パノラマVRのクラウド型CMS(※1)「PANOCLOUD360(パノクラウド360)」を、カスタマイズしたものです。施工プランのCADデータに連携して、360°CG画像データを組み合わせたパノラマVRコンテンツの自動生成とwebへのアップロードを、短時間で行います。

トヨタホームでは既に、戸建住宅の商談時に施工プランごとの外観・内観を3D化し、専用のゴーグルを使って建物内部をウォークスルーで確認できるVRシステムを導入しています。今回新たに採用された本システムは、専用デバイスではなくお客さま自身のスマートフォンなどの端末を利用して360°パノラマVRを閲覧できるため、場所・時間を問わず簡単に、家族や友人と体験を共有しながら、検討中の施工プランを確認することができます。また紙製のゴーグル「VRscope®」にスマートフォンをセットして、より没入感のあるVR体験をすることも可能です。



サービスイメージ



コンテンツイメージ

## ◇「PANOCLOUD360(パノクラウド 360)」について

凸版印刷は、ベンチャー企業との共創により新しい社会的価値の創造を目指す取り組みの1つとして、360° パノラマ VR の CMS プラットフォーム事業「PANOCLOUD360」を、アジェンシアとの協業で推進しています。

手軽な月額制のアカウント契約から、各種カスタマイズ対応のエンタープライズ版、API(※2)連携まで、さまざまな利用シーンやニーズに合わせた形でサービスを提供。また「PANOCLOUD360」を発展させ 360° パノラマ動画に対応した「dougaVR」や、対象物を 360° 回転させて閲覧できる objectVR も生成・配信できる「doitVR」、自動車の内装・外装に対応した中古車紹介専用の「kurumaVR」など、多様なバリエーションの VR コンテンツ CMS を順次開発・リリースしています。

特別な機器を必用とせず、市販の 360° カメラやスマートフォンで撮影した空間や商材を、簡単にリアルな映像でインタラクティブに共有することができるため、提供情報の品質向上だけでなく、移動や物流コストの削減にもつながります。

凸版印刷とアジェンシアは今後も、設計段階でイメージを共有する必要がある不動産業界への拡販を強化するとともに、その他 EC サイトや教育向けコンテンツなど、幅広い分野での活用を積極的に推進していきます。

### ※1 CMS について

Content Management System(コンテンツマネジメントシステム)の略。専門知識を必要とせず、簡単に Web などのコンテンツを編集・公開・更新できる仕組み。

### ※2 API について

Application Programming Interface(アプリケーションプログラミングインターフェース)の略。ソフトウェアを一部公開して、他のソフトウェアと機能を共有できるようにしたもの。

\* 本ニュースリリースに記載された商品・サービス名は各社の商標または登録商標です。

\* 本ニュースリリースに記載された内容は発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。

以 上